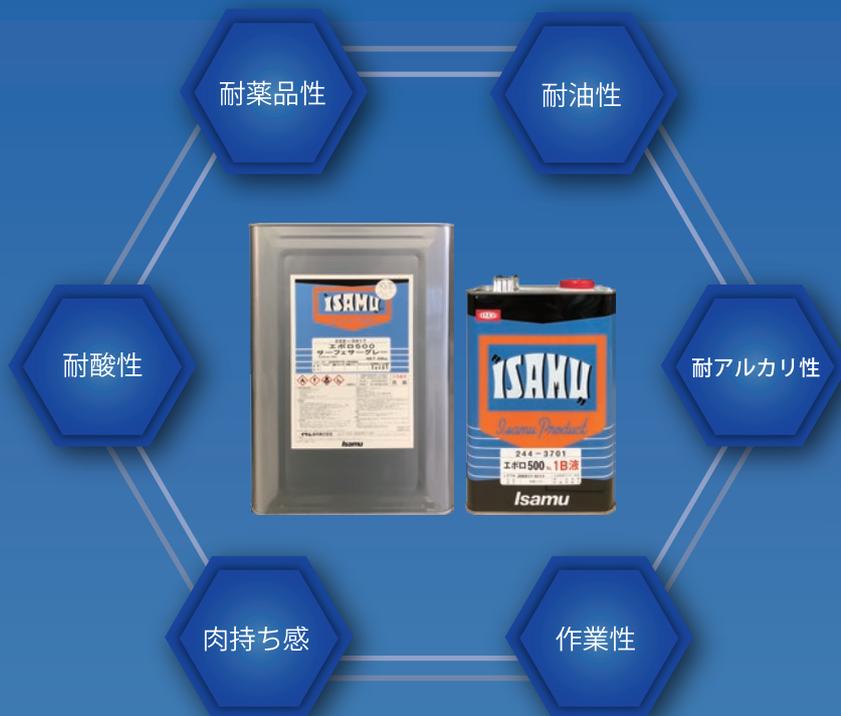


エポキシウレタン樹脂塗料（2液型）

エポ口 500



Isamu

エポロ 500

エポロ 500 は、常温での乾燥性に優れ、優れた光沢・肉持ち感のある仕上がりが得られます。また、耐薬品性、密着性に優れ、機械塗装を中心に多くの用途があります。

反応機構

主剤（ポリオール）は、特殊エポキシ樹脂を使用しており、耐薬品性と密着性に優れています。また、硬化剤は、ポリイソシアネートを使用しており、エポキシ・アミン系塗料と比較しても乾燥性、作業性に優れています。



用途

- 化学工場におけるプラント類の塗装
- 耐油性を要求される工作機械および各種機械部品の塗装
- 耐油性、耐薬品性等を要求される各種金属系素材の塗装

特長

- 設備、環境、被塗物等の条件により、自然乾燥、強制乾燥が可能です。
- 金属素地に対して優れた密着性を示します。
また、下塗りを選定することにより、非鉄金属への塗装も可能となります。
- 高い光沢をもっています。
- 水、塩水、油、化学薬品、有機溶剤等に対して、優れた耐久性があります。

荷姿

製品名	荷姿
エポロ 500(原色)	12kg、3kg、1kg ^{※1}
エポロ 500(調色品)	12kg、3kg、1kg
エポロ 500 No.1 B液	4kg、1kg、350g
エポロ 500 シンナー	16L、3.785L
エポロ 500 リターダー	3.785L

※1 原色により荷姿設定は異なります。

乾燥時間

指触乾燥	40分 (23℃)
指圧乾燥	2時間 (23℃)
完全硬化	4日間 (23℃)
強制乾燥	80℃ x 20分

標準塗装仕様

工程	使用材料名	調合比	希釈率 (%)	標準塗布量 (g/m ²)	塗装方法	塗装間隔 (23℃)
下地処理	シンナー、ワックスオフライト等の脱脂剤により、基材表面に付着している汚染物質、油分を除去する。黒皮鋼板はサンディングが必要。特に黒皮鋼板のウキ、ハガレ部分は完全に除去する。錆、油、水、汚れを完全に除去する。					
下塗り	素材、用途に適応した下塗りを選定する。 (推奨：エポロ 500 プライマー、エポロ 500 サーフェーサー、エポロ Z プライマー等)					
上塗り	エポロ 500	主剤：硬化剤 3：1	エポロ 500 シンナー 60～90	80～120	エアスプレー	(塗装間隔) 16～72 時間 (強制乾燥) 80℃×20 分

標準塗膜試験成績表

試験項目		結果	試験条件	
光 沢		98	60°-60° グロスメーター	
硬 度		2H	鉛筆硬度 (三菱ユニ)	
密 着 性		100/100	1mm 基盤目テープ剥離	
衝 撃 性		◎	デュボン式 1/2' wt500g×30cm	
屈 曲 性		◎	3mmφ 180° 折曲げ	
エリクセン		5mm 以上	1/2' R 押出し	
耐 酸 性	硫 酸	20%	◎	23℃×14 日間浸漬
	塩 酸	20%	◎	〃
	硝 酸	10%	○黄変	〃
	酢 酸	5%	◎	〃
耐アルカリ性	苛性ソーダ	20%	◎	〃
	アンモニア水	10%	◎	〃
耐 湿 性		◎	湿潤試験機 50℃×98%RH×120Hr	
食 塩 水		10%	◎	20℃×30 日間浸漬
塩水噴霧試験		◎	JIS Z 2371 塩水噴霧試験法による (5%-NaCl 35℃×240Hr)	
耐 水 性		◎	40℃×240Hr	
耐 溶 剤 性	ガソリン	△(着色)	◎	23℃×24Hr 浸漬
	石油ベンジン	◎	〃	〃
	灯 油	◎	〃	〃
	重 油	◎	〃	〃
	メタノール	◎	〃	〃
	ベンゾール	◎	〃	〃
	クレゾール	◎	〃	〃
	M E K	×	〃	〃
キシレン	△	〃	〃	
耐 候 性	色差 ΔE	6.8	◎	ウェザオメーター500 時間
	白 垂 化	白化、ツヤの消失	〃	〃
	ワレ・発錆	認められない	〃	〃
	光 沢	8	〃	〃

※塗膜試験は 0.8×100×300mm の冷間圧延鋼板 (JIS G 3141 <SPCC-SB>) を使用しており、全膜厚 150μ に調整したものを、最終塗装後 23℃、65%RH の室内に 96 時間放置をして、試験片とした。標準塗装仕様に準ずる。

各種塗料との比較（一般的なもの）

		エポロ 500	メラミン	エポキシ (2液タイプ)	フタル酸エナメル	アクリルウレタン (4:1タイプ)
塗料タイプ		反応形	熱硬化形	反応形	酸化重合形	反応形
作業性	塗り易さ	○	◎	△	◎	○
	流展性	◎	○	○	◎	○
	気温・湿度・安定性	◎	○	△	○	◎
低温乾燥性		○	△	×	△	○
塗膜性能	硬さ	◎	○	◎	×	◎
	密着性	◎	○	◎	○	○－◎
	光沢保持性（屋内）	◎	○	○	○	◎
	光沢保持性（屋外）	△	△	△	△	◎
	耐黄変性	×	○	×	○	◎
耐薬品性		◎	△	◎	×	○－◎
肉持ち感		◎	○	○	○	○

注意事項

1 耐候性について

屋外等では経時により色相が変化する場合がありますのでご注意ください。耐候性が必要な場合は別途ご相談ください。

2 耐アルカリ性について

使用している顔料の中にはアルカリ性に弱いものがあります。特にグリーン系のもはアルカリ成分によりブルー系に変色することがありますのでご注意ください。

3 B液の取り扱いについて

B液はイソシアネートを含有しており水分と反応します。そのため使用後は必ず密栓して空気と接触しないように冷暗所に保管してください。また塗装の際には被塗物の水分やコンプレッサー・トランスホームの水分を取り除いてください。水分が残っている場合ピンホール等の原因となることがあります。

4 可使時間について

エポロ 500 は 2 液型塗料であるため可使時間があります。可使時間は 23°C・50%RH で 8 時間以内（ホホワイト）となります。ただし気温・湿度・希釈率・原色等により変化することがありますのでご注意ください。

使用にあたってのご注意

■ 使用上の注意点

- 使用時にはよく攪拌し、均一な塗料状態にしてからご使用ください。
- シンナーは専用シンナー以外のものを使用しないでください。
- 被塗面の異物（研磨材、ダスト、油分、水分）は塗装前に完全に除去してください。
- 標準塗布量の範囲で、タレ、塗り残し、スケラの無いように均一に塗装してください。
- 気温 5°C 以下、湿度 85% 以上、表面結露の見られる場合には塗装を避けてください。
- 火気のない局所排気を設けた場所でご使用ください。
- 廃棄物は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等に基づく産業廃棄物として処理するか、または産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

■ 作業上の注意点

1. 塗料・スプレーミストを皮ふや粘膜に付着させない
 - 作業着・手袋・フード付帽子などで、皮ふなどに直接付着しないように保護してください。
 - 保護メガネを必ずかけてください。眼に飛沫が入った時は、すぐに大量の水で洗い流し、ただちに専門医の手当てを受けてください。
2. スプレーミストを吸い込まない
 - 塗装の際、国家検定に合格した防毒マスク・送気マスクを必ず着用してください。

■ イソシアネートの毒性について

1. スプレーミストの吸入による中毒症状
 - 軽症：不快感・頭痛・咳 中症：喉頭炎と同様症状
 - 重症：ぜんそく状の気管支ケイレンを伴う発作
2. 皮ふに触れた場合の炎症
 - 塗料・スプレーミストが直接皮ふに触れると、赤くはれるなどの炎症を起こす場合があります。
3. 一度中毒症状になると再発しやすい
 - 一度中毒・炎症を起こしたりすると、過敏になり再発しやすくなる傾向があるので注意してください。
 - 気管支炎になりやすいなどの呼吸器系が敏感な人や既往症のある人、皮ふカブレの出やすい人、アレルギー質の人は、作業に従事しないでください。

■ 容器のふたを必ず閉める

- 硬化剤：硬化剤は空気の湿気・水分と反応するので、使用時以外は必ず密栓し、湿気・水分との接触を避けてください。
 - 主剤：主剤は使用時以外は必ず密栓し、溶剤の拡散を避けてください。
- ※取扱いに際しては、安全データシート(SDS)に従ってください。

※カタログ記載の内容は、2026年2月現在の情報です。カタログの内容は予告なしに変更となる場合がございます。予めご了承ください。

彩で未来を創る



イサム塗料株式会社



東京支店 TEL 048-444-0136
名古屋支店 TEL 052-502-0136
大阪支店 TEL 06-6308-1363
福岡支店 TEL 092-611-1360
仙台出張所 TEL 022-206-6136
滋賀工場 TEL 077-562-1360
札幌駐在所 TEL 011-823-1360
広島駐在所 TEL 082-291-1234

●このカタログ内容に関するお問い合わせは最寄りの営業所又は代理店へご連絡ください。